

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
理科	化学	2	2	選択(理系必修)

到達目標	自然の事物・現象に関する観察、実験などを通して、人間と自然とのかかわりについて考察し、自然に対する総合的な見方や考え方を養う。 身近な自然の事物・現象について観察、実験などを通して、それらの基本的な方法を習得し、エネルギーや物質について考察し、自然を探究する力を養う。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1 学期 中間	溶液 溶解とその仕組み 溶液の濃度 化学平衡 弱酸・弱塩基の遊離	さまざまな化学反応について考えるにあたって、反応の原理を理解することが大事。復習+αを通して化学理論の分野を確実に理解しておけば、先の内容の学習がとても容易になります。	
1 学期 期末	電池と電気分解	酸化還元反応の応用例としての電気化学を学びます。現代化学との接点も多い分野です。	
2 学期 中間	無機化合物 非金属元素 典型金属元素	暗記の多い分野。しかし、暗記すればいいというわけではなく、これまでの知識と合わせて、総合的に考える力が必要になる分野です。	
2 学期 期末	遷移金属元素 有機化合物 有機化合物の特徴と構造	炭化水素の性質や官能基の性質を確実に覚えていきます。ここでしっかりと内容を押さえておけば、以降の有機化学分野の学習が容易になります。	
学 年 末	脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物 芳香族化合物	ベンゼン環をもつ化合物特有の性質をそれぞれ押さえていけば、あとは脂肪族化合物で学習した内容の復習となり定着しやすい分野です。	

評価方法と 評価のポイント	知識・技能・・・定期考査等 思考・判断・表現・・・定期考査等 主体的に学習に取り組む態度・・・提出物、小テスト等
--------------------------	--

教科からのアドバイス

復習が大切です。必ず復習の時間を取りましょう。

計算問題は繰り返し練習し、パターンに慣れましょう。